



校訓

なかよく かしく たくましく

ちがいを豊かさに 自分に夢と自信を

令和5年7月20日 第9号 文責 梶原 圭一



前期前半の子どもたちの成長を見つめて

本日、令和5年度の前期前半が終了し、明日から38日間の夏休みに入ります。4月10日(月)に始業式を行って、あっという間の70日間だったように感じます。5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが引き下げられ、教育活動の制限もほぼなくなり、以前のような学校生活の風景が戻ってきました。その中で、子どもたちが伸び伸び活動しながら成長する様子を見ることができたことを、大変うれしく感じています。保護者並びに地域の方々にも、本校の教育活動に対して、ご理解、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

前期前半を終了するに当たり行った全校集会で、本校の子どもたちに育てたい資質・能力である「**つながり合う力**」「**伝え合う力**」「**やり抜く力**」の向上に向けて、日頃の頑張っている様子を写真等で示しながら振り返っていきました。

「**つながり合う力**」では、各団の勝利に向けて異学年で協力し、つながり合って一つのものを作り上げる喜びを感じた運動会を示しました。また、「自分のことを大切にするように、友だちのことを大切にする」ことを学んだ人権学習の足跡から振り返りました。

「**伝え合う力**」は、子どもたちが様々な学習に取り組む中で、自分の考えや思いを伝え合っている場面を提示し、共に学び、友に学ぶ大切さを確かめていきました。

「**やり抜く力**」は、全校で取り組んでいる靴並べの成果を紹介し、目標に向かってチャレンジするよさを話しました。

夏休みに向けて、「**自分の命を大切にするとともに、身近な人たちの命を大切に**する夏休みにしよう」と伝えました。夏休み中の楽しい思い出を、8月28日(月)から始まる前期後半に教えてくれることを、楽しみにしています。



◆◆すべての人たちが過ごしやすい町にするために◆◆

7月14日(金)に、4年生が総合的な学習の時間で福祉体験活動を行いました。その前に行った事前学習の中で、「すべての人たちが過ごしやすい町にするための、『すべての人』にはどんな人たちがいるか」について話し合い、身の回りにはいろいろな人たちが支え合い、助け合いながら生活していることを学びました。

活動では、車椅子で生活しておられる方や高齢の方々の立場になって、どんな声かけやサポートが必要であるかを体験しました。当日は、地域の民生児童委員さんにもご協力いただき、一緒に行動しながら丁寧に教えていただきました。地域の方々の優しさを感じた時間でした。今回学んだことを生かし、誰に対しても思いやりの心で接し、相手の立場に立った優しい言葉がかけられる子どもたちに成長してくれることを願っています。

